

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 36

2023.6.14(No.3159)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹  
 会 長／西山 徳芳  
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／野崎喜一郎  
 幹 事／梨 本 次 郎  
 S A A／石 黒 良 行  
 会 計／五十嵐博宣  
 直 前 会 長／歸 山 肇  
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:55名中33名  
 ■先々週出席率:85.45%

#### 【先週のメイクアップ】

- [6.7] 第4分区会長・幹事会(三条)へ  
・吉井直樹さん、 小林吾郎さん
- [6.8] 三条RACへ  
・西山徳芳さん、 小林卓哉さん
- [6.10] ローターリー防減災セミナー  
(長岡)へ  
・松永隆夫さん
- [6.10～11] 日本青少年交換研究会・  
新潟会議へ  
・相場弘介さん、 外山浩玲さん



2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



## 会長挨拶

西山徳芳 会長



納豆と言うとネバネバした褐色の発酵食品です。

私が家でいろんな食品を作っていた話は以前したと思いますが、納豆もその一つです。

暑くなってくると匂いが気になり、夏場ではあまり食べられない食品とは思いますが、今日は納豆のお話をさせてください。

私が最初に作ったのは煮豆で、甘味のついた醤油味のおかずになります。煮豆は大豆を十分に水でふやかして柔らかくしてからたっぷりの水から茹であげます。頃合いになったら豆腐の時と同じように、ひとつ噛んでみて確かめます。充分柔らかくなるまで煮えたことを確認して、お湯を切ってからザラメを豆の上に山盛りにして、ゆっくり溶けるのを待ちます。1時間ほどかけてポットの中でザラメを溶かしたら半日ほどなじませます。その後、醤油を入れて10分ほどなじませたら仕上がります。砂糖は染み込むまで長くかかりますが、塩分は10分もあれば染み込みます。ここまでは煮豆の話ですが、ここからザラメや醤油を入れずに納豆菌を入れると納豆になるわけです。納豆菌は調達が難しいように思えますが、われわれ素人が作る場合ですと、煮た大豆に市販の納豆を

絡めるのが一番簡単です。それを保温ポットで、こたつか、風呂くらいに温めた状態に二晩ぐらい保つとネバネバした糸を引く納豆になります。市販の納豆よりも臭くて糸の引く納豆ができます。昔は煮た大豆を藁に入れて作りました。納豆菌というのは熱に非常に強い菌なので、藁の束をお湯の中に入れた後、藁に豆を包みます。こうすると藁に住んでいる他の菌は死滅しますが納豆菌は生きているので、納豆菌が豆に仕込まれて納豆になります。

納豆は冷蔵庫で一年放置すると、水分がなくなり、アミノ酸のかたまりで、浜納豆、鯉節的なものになります。自家製の納豆は市販のものより香りが強く、関西では食べる方が少ない、苦手という人も多いですが、臭い納豆ほどうまみが増しています。夏場はからしやネギを入れて臭みを和らげるのがおすすめですが、まだ苦手な人は強くにおいを感じてしまうようです。

実は納豆づくりで失敗談があります。納豆菌は非常に熱に強いのは申し上げたわけですが、圧力釜で容器を煮沸しても死滅しません。一度納豆を作った容器で先程話したような甘い煮豆を普通に作ろうとした時でも、なにか変だな、糸を引く、あ、しまった、この容器は以前に納豆を作ったのだと思います。仕事の関係で東京農業大学の醸造科の方と話したことがあります。納豆を作っていた工場は、菌が悪さをするので、ほかの食品の工場にはできないときいたことがあります。

暑い時期にネバネバする話で恐縮します。

## 幹事報告

梨本次郎 幹事



◎次年度第4分区ガバナー補佐の小出和子様より

「第4分区会長幹事会の御礼」

◎白根RCより

「創立60周年記念式典ご出席の御礼」

◎地区事務所より

「第8回日台ロータリー親善会議 台北大会のご案内」

開催日 2023年10月20日(金)

会場 台北萬豪酒店(台北市)

※ゴルフコンペは、10月19日(木)に新北市で開催。

◎次週21日(水)は、夜例会「会長幹事慰労会」です。

ご欠席の方はメイクアップをお願いいたします。

28日(水)は、クラブ休会です。新年度最初の例会は、7月5日(水)です。

## ニコニコBOX

西山徳芳会長

ぼくしゅう 麦秋の季節。いよいよ年度末になりました。

梨本次郎さん

今年度、クラブ運営にご協力頂きましてありがとうございました。皆様に御礼申し上げます。

吉井直樹さん

西山会長、梨本幹事、1年間お疲れ様でした。1年間の感謝いたします。

衛藤泰男さん

今期もまもなく終わりますね。西山会長、梨本幹事はじめ関係者の皆さま、一年間ありがとうございました。

野水靖之さん

梅雨に入り、ジメジメ蒸し暑くなりました。

本日、西山会長、梨本幹事、よろしく願い致します。

相場弘介さん

本日も宜しく願い致します。

松永隆夫さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

五十嵐晋三さん、近藤雄介さん、斎藤弘文さん、高橋 司さん、金子俊郎さん、小越憲泰さん、歸山 肇さん、杉山幸英さん、小出子恵出さん、松永一義さん、安達俊明さん、石倉政雄さん、明田川賢一さん、柳取崇之さん、小林吾郎さん、落合孝夫さん、嘉瀬一洋さん、渋谷政道さん、早川滝徳さん、船越良則さん、長谷川正実さん、佐野勝榮さん

西山会長、梨本幹事、石黒SAA一年間お疲れ様でした。

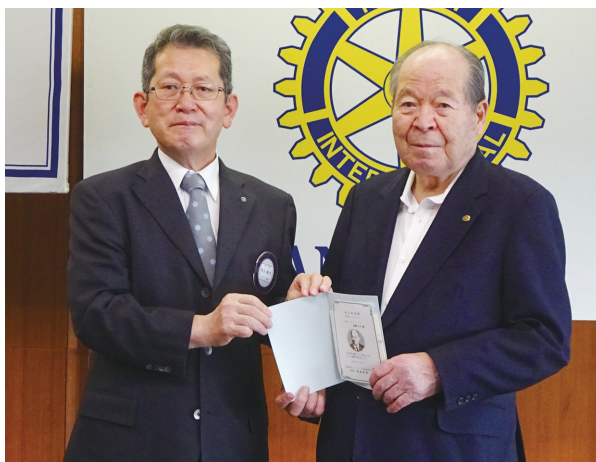
6月14日分 ￥ 39,000

今年度累計 ￥ 1,293,000



## ロータリー米山記念奨学会より

斎藤弘文会員へ「第5回 米山功労者マルチプル感謝状」の授与  
故中村信一会員へ「第1回 米山功労者感謝状」の授与



また、第37回米山功労クラブ感謝状も届いております。  
米山功労クラブは、個人・法人・クラブ扱い全ての特別寄付が対象となり、  
累計額が100万円を超えるごとに表彰されます。



2023-24年度  
親睦・出席委員長  
早川滝徳 会員より

## 夜例会「納涼例会」のご案内

7月19日(水)

受付 18:00～ 開会 18:30～

会場 ジオ・ワールド ビップ

## 「卓 話」

### 「一年を振り返って」



#### 西山徳芳 会長

壇に並んでおります梨本幹事、SAAの石黒さん、エレクトの吉井さんとは多くのクラブの仕事をしていただきました。皆様のお力で1年間支えていただきました、もちろん役員、委員会の皆様に協力いただきました。

職業分類の石橋さん、会員増強の柳取さん、会員選考の杉山さん、ロータリー情報の若槻さん、クラブ会報の早川さん、親睦・出席の落合さん、スマイルボックスの衛藤さん、プログラムの石倉さん、職業奉仕の船越さん、社会奉仕・人間尊重の安達さん、国際奉仕・ロータリー財団の松永一義さん、米山記念奨学の亡くなられた中村信一さん、友好クラブの佐野さん、青少年奉仕の小林卓哉さん、副幹事の小林吾郎さん、副SAAの野水さん、多くの委員会委員長・副委員長、そしてメンバーの皆様、忘れてはいけないのは、影で支えてくれた事務局の宇佐田さん。1年間ありがとうございました。言葉にしきれない支援を頂戴しました。

野崎年度の終わりの挨拶の中で、クラブの会長をすることがクラブに対する最大の奉仕と言っておりましたが、身をもって実感できました。とにかく休まずに出席することがいかに大変か、アクシデントや急用があっても、とにかく出席することが続くのです。分かっていたはずでしたが何とか、進むことができました。送り出してくれた家族や、迷惑をかけたお取引先もありました。

年初めにクラブ・フォーラムを終えると、コロナによる、例会の自粛が連続してありました。他のクラブでは例会を継続したようですが、三条クラブにおいては理事会での相談の結果、夏忘れを含め、夜例会も開催できませんでした。弁当を持ち帰るといような繰り返しになってしまいました。8月いっぱい休会を続けましたが、数か月で例会も復活することができました。

その間の、7月23日には三条ローターアクトクラブの創立50周年が、1年遅れでVIPで開催されました。今年度の開始時には会員が2人まで減って、クラブの存続が危ぶまれておりましたが、その2人の精力的なアピールが若い層の興味を引き、今では9人まで増えました。

制限はありましたが、例会を開催できるようになり、過去2年の年度に比べれば、まだ恵まれていたことはラッキーでありました。

納涼例会はセレモニーのみ、準備が進んでいたのにもかかわらず、飲食はできませんでした。

公式訪問を控え、第4分区のガバナー補佐の事前訪問となり、緊張のうちに最初の大きなイベントである公式訪問を迎えました。

秋には親睦旅行を、晴天のもと富山県、立山で初雪、紅葉、緑の三段の眺めをみることができました。年末にはウィンターフェスティバルもありました。一方で、いからしの里へクリスマスプレゼントを持って訪問するイベントは遠慮しなければなりませんでした。例会も少しずつもとの形に近づき、忘年会は家族を入れないで会員だけの開催でした。

前半で大きかった出来事と言うと地区補助金を申請し、エラールピアノに奉仕したわけですが、財団への申請を長岡の4クラブが辞退している状況下で、是非とも、三条だけでもなんとか補助を受けたいということで、地区の財団からの指導のもと、どうかお許しをいただき、財団の補助金をいただきました。

補助金は社会に奉仕するものとの理念のもと、部品と技術料での提供になりました。申請文書の作成や修正などは非常に手がかかり、途中で挫折しそうになりましたが、財団の野崎さんからの指導、支援のもとに、無事、完遂することができました。今回の奉仕がきっかけで、東ロータリーでもエラール推進会、永桶さんの卓話をさせていただき、同クラブからも奉仕をいただき、会員企業様からのご厚意もありました。併せて、新聞を見て、卒業生の方と一般の会社からも寄付をいただけることになり、とても良い奉仕ができたのではないかと思います。

まだピアノは完成していませんが、この秋以降には誰もが知っている、在京の一流ピアニストをお招きして、皆様にお披露目されると思います。

そうして年が明け、大雪が降った時期もありますが、春に向けて地区の活動が見られ、先送りされていた周年事業も小規模ですが開かれるようになりました。

地区大会は、イタリア軒と、ANAホテルで2日に渡って開催しました。これについても通常の盛大さはなく、会長と幹事、役員のみで開催になりましたが、コロナの感染を考えると、まだこの時期には難しかったのではないかなと思います。

3月11日には早くも、米山年度のPETSが三条で開かれ、吉井エレクトを始め、多くのメンバーが参加しました。

同じ月の20日には、友好クラブである新竹城中RC創立30周年の記念式典へ。5年ぶりに訪問するためにクラブから14名の参加者がありました。12月に

要請が来たのですが、まだタイミングが早く無理ではないかと思われましたが、なんとか参加することができました。

会場の新竹のアンバサダーホテルでは、サンバガールのレセプトでお出迎えをしていただくような盛大な歓迎式典のもと500名の参加者で、登壇し祝辞を述べさせていただきました。交流して良かったなと思いました。

4月には、職場例会で小越会員のハイサーブウエノ様に、おじゃまさせていただきました。工場の生産ラインを見させていただいたのですが、障がい者・高齢者も適材適所となるよう雇用し、部署によっては24時間での生産をしていると伺いました。ステンレスの素材が硬くて、玉川堂が扱う銅のやわらかさがうらやましいというつぶやきや、金属のふちを素手で触ってもけがをしないなめらかな仕上げになっているとのことが印象に残りました。

第4分区のIMが岩室で開かれ、会場の関係で席数の制限はありましたが、参加人数も緩和され、この頃からはだいぶ正常になってきたのではないかなと思います。

そしてこの5月に地区研修・協議会を地場産業振興センターで開くことができました。

まだすべて終わったわけではありませんが、大きな事業を終えることができ、ここ3年来、元のすがたでの例会を開催できることが会員、関係した年度の会長はじめ役員の願いでした。政府が規制を緩める発表があり、私の年は運が向いていました。

5月には、机の並びがスクール形式から通常に戻りました。

このまま、コロナが収束してくれればと思います。吉井年度には、数年前の日常とも、つい最近までの厳戒態勢とも違う世相が待っていると思います。クラブライフが明るい1年になるのを祈りながら、1年を振り返っての言葉にさせていただきます。ありがとうございました。



## 梨本次郎 幹事

西山会長のもと、幹事を務めさせていただきました梨本次郎です。

まずは、今年一年間、クラブ運営にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。そして、志半ばで今年度他界された故中村

信一会員に対して、改めてご冥福をお祈りいたします。

私は入会6年目ですが、在籍期間の半分は新入会員であり、またその半分はコロナ禍の影響で通常のクラブ運営が行われなかった期間です。そのような状況で幹事の役割を引き受けることに不安と戸惑いを感じていました。しかし、自分の力不足と経験不足を自覚しながらも、西山会長から声をかけていただいたことに感謝し、西山会長に恩返しするために全力で取り組もうと心に誓いました。

7月から新年度が始まり、順調に進んでいたのも東の間、コロナ禍の猛威が再び襲ってきました。新潟県内では、これまでの907人を遥かに上回る1,710人の感染者が発表されました。行動制限は発令されていませんでしたが、西山会長は会員からも陽性者が複数人出たという報告を受け、会員の安全確保を第一に考え、8月いっぱいの休会を決断されました。この休会は今振り返っても正しい判断だったと思います。

西山会長にとって最も思い入れのあった事業が、地区補助金事業である「エラーールピアノ復元プロジェクト」です。11月に贈呈式を執り行い、この秋には「まちやま」に設置され、演奏を聴くことができるようになる予定です。壊れたピアノを修理するだけの事業が果たして社会奉仕活動と言えるのか、懐疑的な意見も少なからずあったと思いますが、西山会長は強力な情熱を持ち、社会奉仕委員長の安達さん、地区財団委員会副委員長の野崎さんとともにこの事業を成し遂げました。

日本に3台しか存在しないエラーールピアノを修復し、音を奏でる楽器としてこの地域に遺すことは、音楽の振興に大きな一翼を担い、芸術の振興や教育の普及など、文化の豊かさと多様性を支援することにつながると思います。こうした歴史的にも重要な事業に三条RCとして関わられたことを大変誇りに思います。

同様に、毎回の例会で西山会長は「食」をテーマに挨拶をされていました。「食」もまた文化です。食は私たちの生命の源であり、アイデンティティの一部でもあります。

私たちが日々の生活で感じる幸福感と充実感の

一部は、食と音楽という二つの文化がもたらしてくれるものであることは間違いありません。食と音楽の文化の本質的な価値を見出し、それを発信し続けた人は歴代会長の中でも西山会長が初めてではないでしょうか。

親睦旅行では、扇沢から電気バス、ケーブルカー、そしてロープウェイを乗り継いで室堂を通過し、長野県から富山県まで通り抜ける立山黒部アルペンルートも非常に良い思い出です。親睦委員長の落合さん、ありがとうございました。

急転直下で決定された台湾の新竹城中RC30周年への訪問も、私にとって思い出深いものでした。西山会長が日本語ではなく現地の台湾語で述べた素晴らしいスピーチにとっても誇りを感じました。また、台湾まで同行してくれた会員の方々の友情にも、心から感謝しています。

私は、一年間、西山会長と共に過ごす中で、西山会長がクラブに対して深い思いを持ち、その思いを

具体的な行動に移す様子を目にしました。ロータリーの理念と価値観に真摯に向き合い、それを実践してきた西山会長は真のロータリアンだと思います。今年度のRI会長、ジェニファー・ジョーンズさんの会長テーマ「イマジン」を西山会長はご自身の言葉で「おもいいたそう」とし、これを本年度のクラブテーマとされました。西山年度はまさに会長自身が「おもいいたそう」を体現した年度だったと思います。その年にクラブ運営を担う重大な役割である幹事職に就かせていただいたことは、大変光栄なことでした。

西山会長を始め、今年SAAを務めてくださった石黒良行さん、いつも傍で支えてくださった会長エレクトの吉井さん、名前を上げればキリがありませんが、全ての会員の皆様に感謝申し上げ、私の一年を振り返る挨拶とさせていただきます。皆さん本当にありがとうございました。

次週例会 6月28日 **クラブ休会**

次々週例会 7月5日 「クラブアッセンブリー」

吉井直樹 会長

